

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】

3年ぶり第26回北見市総合武道祭! ③

演武8番目の北見市弓道会は10人立ちの弓道場において参加者全員が「矢渡し」を披露した後、団体戦・個人戦の競技を行いました。

〈佐藤〉



講道館創立140年記念品

「師範ゆかりの末広がり」を中澤伸一七段から北見市武道館に寄贈されました!

※北見市武道館に展示しています。

記念品「末広」書画の由来

中央の「壺」の書は、昭和11年11月、嘉納治五郎師範の喜寿を門弟及び関係者多数で盛大に祝賀した際、師範が記念の「末広」に認められたもので、署名の瑞寶は、師範誕生のとき祖父希烈翁から師範に授けられた字である。両側に配られている達磨と梅の画は、須磨子令夫人が画かれたものなから今回選んだものである。この「末広」には、師範御夫妻の書画が最も適当であろうと選ばれたのであるが、この原書画は、資料館に展示されているので、ご一覧賜われれば幸甚である。 講道館

5.1 両手を掴みたる時

受が取の両手を上からつかむとき

- ・取は(掴まれた)両手の四指を受の腰に向かって指し
- ・そのまま肩に向けて挙げると、受は後方に崩れる。
- ・(このとき)取は手首を返し掌を受に向け
- ・その両手を内から外へ大きく弧を描いて張り抜け、両手を回して受の両手を掴む(掴み方 受の両手拇指を、取の両手の掌の中央部に入れ、両手拇指は受の両手拇指の付け根の膨らんだところ上から掴む)
- ・つかんだ受の両手を更に外側から内側に弧を描きながら、腹部中央に戻し
- ・掌の外側に向くよう手甲を合わせ、左手で両手拇指の付け根をしっかりと掴み
- ・右手は両手の四指を腹に握り、左肩の方向へ押し倒す。

